資料５

1）栄養の力でつながるプロジェクト

公益社団法人日本栄養士会からの依頼により、

①２０２６年6月２５日（木）11：40-12：10。

しょうへいさんの家のサロンにて参加者６７名でフレイル予防を行いました。

フレイルと低栄養の話と栄養のバランスについて３０分講義を致しました。

協力企業の Zespuri よりキウイの提供があり、参加者に持ち帰りとさせていただきました。

②２０２６年7月１３日（月）永楽台近隣センターのサロンやまびこにおいて行う予定です。

③２０２６年8月8日（土）

手賀地域にて行う予定です。

④２０２６年8月３１日（月）パレット柏多目的スペースＡにて１１時から１４時

一般参加者に向けて行います。チラシを添付いたします。

2）１．フレイル予防・健康づくり出前講座　　＜栄養＞

【サロン荒工山】5/12【松の実会】5/22【ふれあいカフェ羽黒台】5/28【ロコモカフェ手賀】6/10【若葉の会】6/10

２．フレイル予防応援プログラム（フレイルハイリスク者支援）＜栄養＞

フレイルチェックに 8 個赤丸のついた方に包括作成の支援計画に基づき、アセスメント、支援を実施いたします。運動、口腔、栄養の 3 つの専門職種が関わります。食べることができる口を作り、栄養を摂り、運動で体力・筋力・バランスを作ることがフレイルのハイリスクを改善するということを実感していただけたらと思います。コロナ禍が終わっても高齢者のフレイル化が心配ですので、専門職で支援していきたいと思います。

3.自立支援介護予防個別会議及び多職種包括訪問事業

地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントの向上により、地域の高齢者がより安心して自立していけるように自立支援及び重症化予防で、地域課題を共有し、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように支援します。（自立支援介護予防個別会議＜Ａ＞食欲不振・摂食嚥下問題・体重低下など、ケアマネージャーさんからのご相談（多職種包括訪問事業＜訪問Ｂ＞）も増えてまいりました。こちらは直接管理栄養士が対象者様とお会いして不安や問題の解決に寄与できるようになっています。居宅療養管理指導には、契約などシステム上入れない方や、介護状況が重くなる前に介入出来るのが素晴らしいシステムですので、もっと多くのケマネージャーさんにご利用いただき、少しでも介護度が上がる前に繋がらせていただければと思います。大病院で退院しても、在宅でどのように食事を摂っていったらよいかという案件も増えてまいりました。病院・福祉施設・在宅の管理栄養士の同職種連携の会議を今年も計画し、各の食形態の提供の名称や形態が違うことにより患者さ

資料5

んのシームレスな栄養管理が難しくならないように「栄養情報提供書」を退院時支援に出していただき、在宅での高齢者の栄養が滞らないようにと今後、動いて行きたいと思います
　又、同職種連携が広がり、柏市の多職種や住民に管理栄養士の顔がもっと見えるようになるといいと思います。

4.地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターにより、管理栄養士に向けて、フレイルサポート栄養士研修会が行われました。

認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会